

「地域が育てる・ふるさと笠郷」を 創造する



笠郷地域 まちづくり計画書

平成29年4月
笠郷地域創生自治町民会議

【目次】

1. はじめに	1
2. 笠郷地域とは	3
3. 笠郷地域の現状と課題	5
4. 将来のめざす姿	17
5. 具体的な取組み	19
6. 計画の推進に向けて	35

1 はじめに

(1) まちづくり計画とは

私たちの笠郷地域は、平成 26 年 11 月に（仮称）笠郷地域創生自治町民会議準備委員会を立ち上げ、アンケートの実施や、各部会を設置し地域の課題等について検討をしてまいりました。

平成 28 年 4 月 30 日に「笠郷地域創生自治町民会議」の設立総会を開催し、規約・役員・事業計画を承認しました。

今後は、地域が地域の課題を自主的に取り組み、行政と協働しながらまちづくりを行うことが求められます。

そこで、地域住民の自治意識を高め、住民が“笠郷に住んで良かった”と思える、まちづくり計画をつくり、それに基づいて地域の課題解決に邁進していきます。

計画をつくるに際しての視点

- 人口減少・少子高齢化・安心な地域づくりにどう取り組むのか？・・・
- 地域の課題を提案し、行政と協働しながらまちづくりを進めるためには？・・・
- 高齢化に伴う地域単位の人と人との絆づくりにどう取り組むのか？・・・
- 住民の意見を尊重し、地域の問題解決をどう取り組むのか？・・・
- 笠郷の 4 本柱の重点施策をどう取り組むのか？・・・

(2) 計画の期間

まちづくり計画は、概ね 10 年を目標とします。

また、当初の 3 年程度の期間に取り組むことを中心に、前期・中期・後期を展望して、地域の課題を解決する方向性と取組みを明らかにしています。

(3) 計画づくりの進め方

計画づくりにおいては、できるだけ多くの住民から、意見を得るよう工夫し、町民会議の設立前に笠郷地域を対象に各世帯のアンケート調査を行いました。このアンケート調査を整理した結果から、浮き彫りになった地域の課題について、きめ細やかに対応することが必要なため、5つの部会を設けて、議論を進めることになりました。

アンケート結果（自由意見の集計（件数））

町への依頼・要望	自治町民会議での検討・協議事項				
97	安全・安心	環境・美化	健康・福祉	教育・文化・商工	その他
合計 332	29	44	8	22	132

特に、住民の関心が高い、安全・安心や環境・美化などの分野をはじめ、地域の課題の解決策について、部会を中心に議論し、おおよその期間を定めて、実行できる体制を築き、具体的な取組みのアイデアを考えました。

また、計画の全体的な構成に関しては、部会での意見を踏まえて、理事会・各部会長会の間で、繰り返し意見交換を行いながら、まちづくり計画を取りまとめてきました。

さらに、今後の地域を担う若い世代の意見を尊重しようと、東部中学校の協力も得ながら、笠郷地区在住の中学生に対してもアンケートを行い、この結果から得られたアイデアも含めて、まちづくり計画の策定を進めてきました。

部会構成

総務部会	町民会議の全体的な調整
安全・安心部会	防災、防犯、交通安全など地域における安全・安心に関わる取組み
環境・美化部会	ごみ処理、地域美化など地域環境に関わる取組み
健康・福祉部会	健康づくり、地域における支え合いなどに関わる取組み
教育・文化・商工部会	教育、生涯学習、文化の保全と継承や、商工業の振興、地域の活性化などに関わる取組み

2

笠郷地域とは

(1) 笠郷のなりたち

私たちのこのふるさと、笠郷地域とは、どのように形成されてきたのでしょうか？ この問いを明らかにすることから、笠郷地域のこれからのことについて考える取りかかりとします。

笠郷地域は、濃尾平野の西南に位置し、養老町の東部の中心であります。濃尾平野はもともと海の底でしたが二億年位前に地殻面に大きな変化が生じ陸地が深く落ち込み再び海底となりました。五千年位昔から少しずつ盛り上がり、一千年位前に木曽川・長良川・揖斐川・牧田川が生まれて土や砂を運び次第に濃尾平野を形成してきました。養老町は、北部が高く南東部が低く傾いていて、そのため北部が早く開けました。南東部にあたる笠郷地域は土地が低く、いつも水がついて私たちの祖先が少しでも高い所を選んで住みつき、田畑を耕すようになりました。

昔の牧田川は決まった川の路がなく、低い所に向かって自由に流れていました。長い年月を経て川の路の両側が次第に高くなって、堤の役目をするようになり、自然堤防ができました。栗笠・船附は牧田川の堤防の上に、大野は揖斐川（伊尾川）の自然堤防に住み、上之郷・下笠は牧田川の土砂を運び江戸幕府が新しく開拓を勧めたことで笠郷地区も次第に村々ができました。

中でも、栗笠は一番早く「和名抄」という本に富上郷と書かれており、富上の上は土の間違いで富士が正しく、富＝福、土＝地で福地に変わったのであろうということです。1,050年も前の本に載っていることから、栗笠もずいぶん前から開けていたと思われます。船附も今の米野あたりが中心で、中世から近世にかけ、現在の地に川湊として栗笠と共に栄えました。上之郷は天領と言って、江戸幕府が直接治めた村であったことから、何事においても優位であったと伝えられています。

(2) 笠郷地域のいわれ

私たちの住んでいる笠郷地域は、今から 370 年ほど昔の江戸時代の初めごろに築かれた輪中そのままの範囲で現在に至っています。低地であった宿命から輪中を築き、常に水と戦ってきた先人の苦労と二度の水害を乗り越え干拓と耕地整理の血の滲む努力にこの美しい郷土が成り立ちました。

また、江戸時代以前から、今の栗笠の北に上笠が、南に下笠の村が南北に並びすでに「笠の里」でした。笠の地名は、笠のように土地がやや盛り上がった所につけられ、明治 17 年に船附・横曽根・烏江・栗笠・大野の各村が連合して船附に役場を作り、下笠にも下笠村役場が作られました。

明治 30 年頃には、船附・栗笠・上之郷・下笠・大野の五つの村が合併し笠郷村が誕生しました。当時のお米が五千石位取れるので五千石村という意見もあったそうです。この地域は、お百姓さんが笠をかぶって農作業が盛んな所という意味で「笠の郷」、つまり「笠郷」と名づけられました。

図表 2 笠郷地域の地図



3

笠郷地域の現状と課題

(1) 笠郷地域の人口等の動向

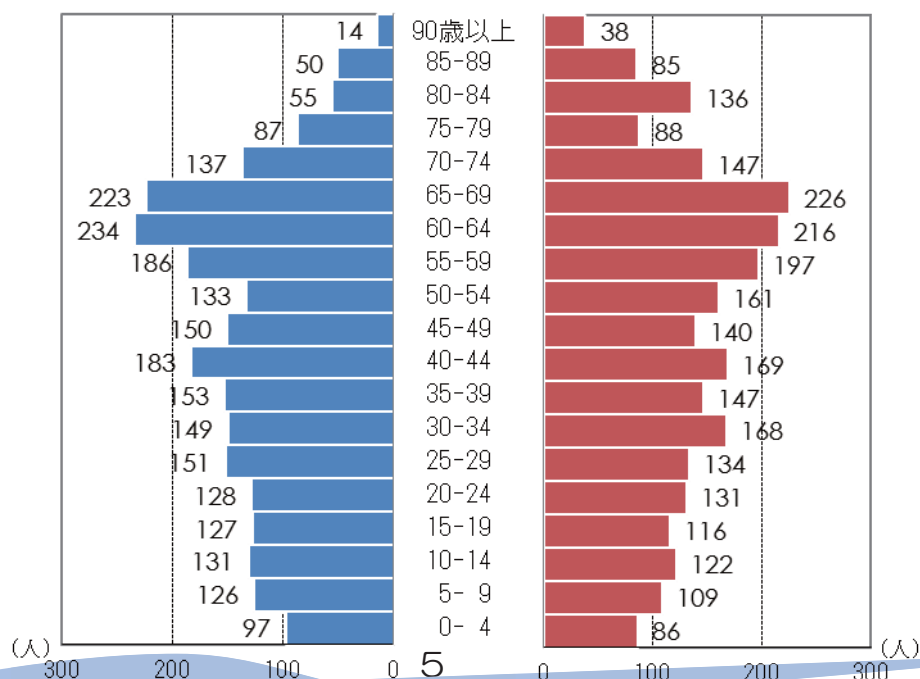
①人口の現状

- 笠郷地域の人口は 5,130 人、世帯数は 1,638 世帯です（平成 27 年 10 月現在）。
- 地域内では、下笠、船附を中心に人口が多くなっています。
- 年齢別の人口構成を見ると、60 歳代が多くなっています。65 歳以上は 1,286 人で、その比率（高齢化率）が 25.1%に達しています。

図表 3-1 地区別人口（平成 27 年）

	人 口（人）	世 帯 数
船 附	1,529	525
大 野	486	140
下 笠	2,135	661
上之郷	275	80
栗 笠	705	232
笠郷地域全体	5,130	1,638

図表 3-2 人口ピラミッド（平成 27 年）



図表 3-3 自治会別人口・世帯数（平成 27 年）

（人）

◆船 附

	船附鼠ヶ森			船附港			船附中屋敷			船附紺屋敷			船附寺屋敷		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
合 計	140	158	298	62	56	118	31	28	59	75	79	154	81	100	181
世 帯 数	90			40			16			55			56		
	船附六羽野			船附村前東			船附大割田			船附元屋敷			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
合 計	110	117	227	74	65	139	119	134	253	51	49	100	743	786	1,529
世 帯 数	76			56			107			29			525		

◆大 野

	上大野			下大野			米野			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
合 計	88	81	169	91	80	171	77	69	146	256	230	486
世 帯 数	38			49			53			140		

◆下 笠

	下笠三ツ屋			下笠榎			下笠構			下笠西江下			下笠東江下		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
合 計	152	194	346	57	53	110	180	179	359	81	75	156	68	78	146
世 帯 数	111			25			109			42			45		
	下笠東江下南			下笠東江下北			下笠中村			下笠中島			下笠和田		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
合 計	68	53	121	24	22	46	29	24	53	89	80	169	79	76	155
世 帯 数	50			19			16			43			49		
	下笠野崎			下笠除内			合 計								
	男	女	計	男	女	計	男	女	計						
合 計	162	194	356	59	59	118	1,048	1,087	2,135						
世 帯 数	112			40			661								

◆上之郷

	上之郷(全体)		
	男	女	計
合 計	128	147	275
世 帯 数	80		

◆栗 笠

	栗笠第1			栗笠第2			栗笠第3			栗笠第4			栗笠第5		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
合 計	68	77	145	57	56	113	48	52	100	81	83	164	38	44	82
世 帯 数	41			35			40			50			33		
	栗笠第6			合 計											
	男	女	計	男	女	計									
合 計	47	54	101	339	366	705									
世 帯 数	33			232											

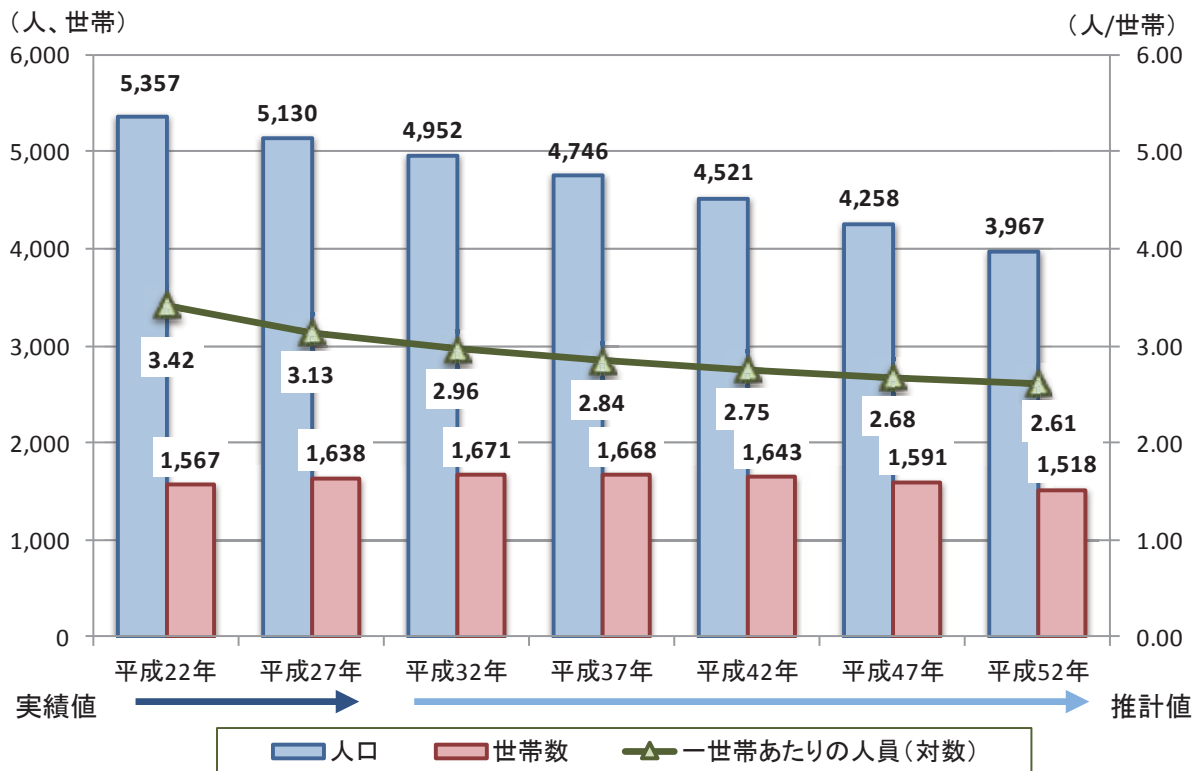
◆笠郷地区(全体)

	笠郷地区(全体)		
	男	女	計
合 計	2,514	2,616	5,130
世 帯 数	1,638		

②人口推計

- 笠郷地域の将来人口を推計すると、平成 52 年（2040 年）の人口は 3,967 人、高齢化率は 36.8% となり、人口減少と高齢化が大きく進むと予測されます。

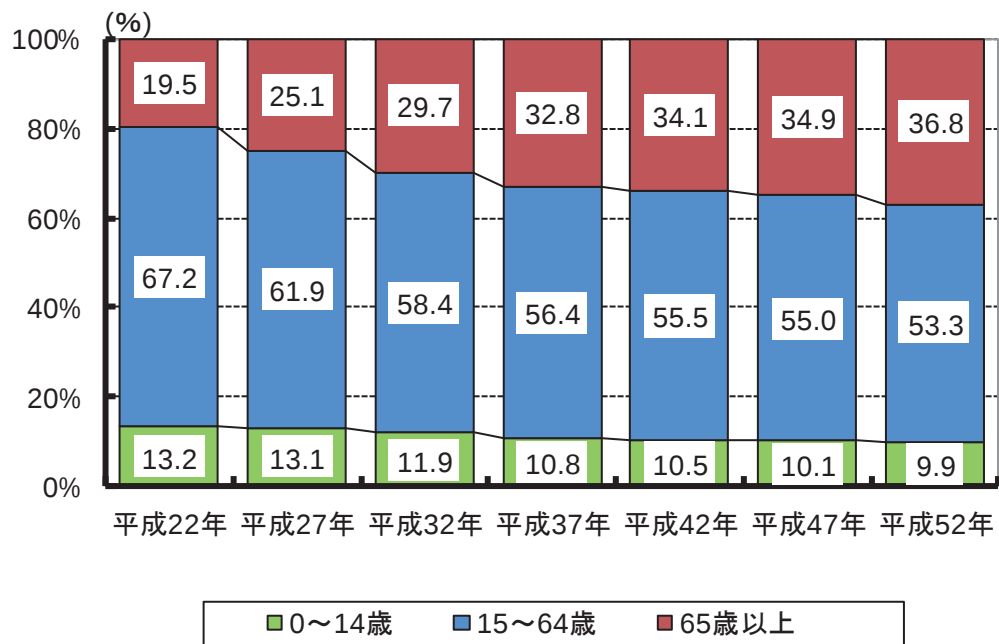
図表 3-4 将来の人口・世帯数・世帯人員



※人口推計にあたっては、国立社会保障・人口問題研究所が推計した養老町の合計特殊出生率（出生数）、生残率（死亡数）、純移動率（転入・転出数）をベースにしながらコーホート要因法により行っています。

	平成 22 年 (2010 年)	平成 27 年 (2015 年)	平成 32 年 (2020 年)	平成 37 年 (2025 年)	平成 42 年 (2030 年)	平成 47 年 (2035 年)	平成 52 年 (2040 年)
人口	5,357	5,130	4,952	4,746	4,521	4,258	3,967
世帯数	1,567	1,638	1,671	1,668	1,643	1,591	1,518
世帯人員	3.42	3.13	2.96	2.84	2.75	2.68	2.61

図表 3-5 年齢 3 区分別人口比率



	平成 22 年 (2010 年)	平成 27 年 (2015 年)	平成 32 年 (2020 年)	平成 37 年 (2025 年)	平成 42 年 (2030 年)	平成 47 年 (2035 年)	平成 52 年 (2040 年)
総 数	5, 357	5, 130	4, 952	4, 746	4, 521	4, 258	3, 967
0 歳 -14 歳	708	671	589	511	473	430	391
%	13. 2	13. 1	11. 9	10. 8	10. 5	10. 1	9. 9
15 歳 -64 歳	3, 602	3, 173	2, 890	2, 676	2, 507	2, 341	2, 115
%	67. 2	61. 9	58. 4	56. 4	55. 5	55. 0	53. 3
65 歳 以上	1, 047	1, 286	1, 473	1, 559	1, 541	1, 488	1, 461
%	19. 5	25. 1	29. 7	32. 8	34. 1	34. 9	36. 8

(2) アンケート調査結果

笠郷地域においては、平成 27 年 7 月に全世帯を対象としてアンケート調査を実施して、地域の課題等を把握しました。その結果の主なものについて、その一部を掲載します。

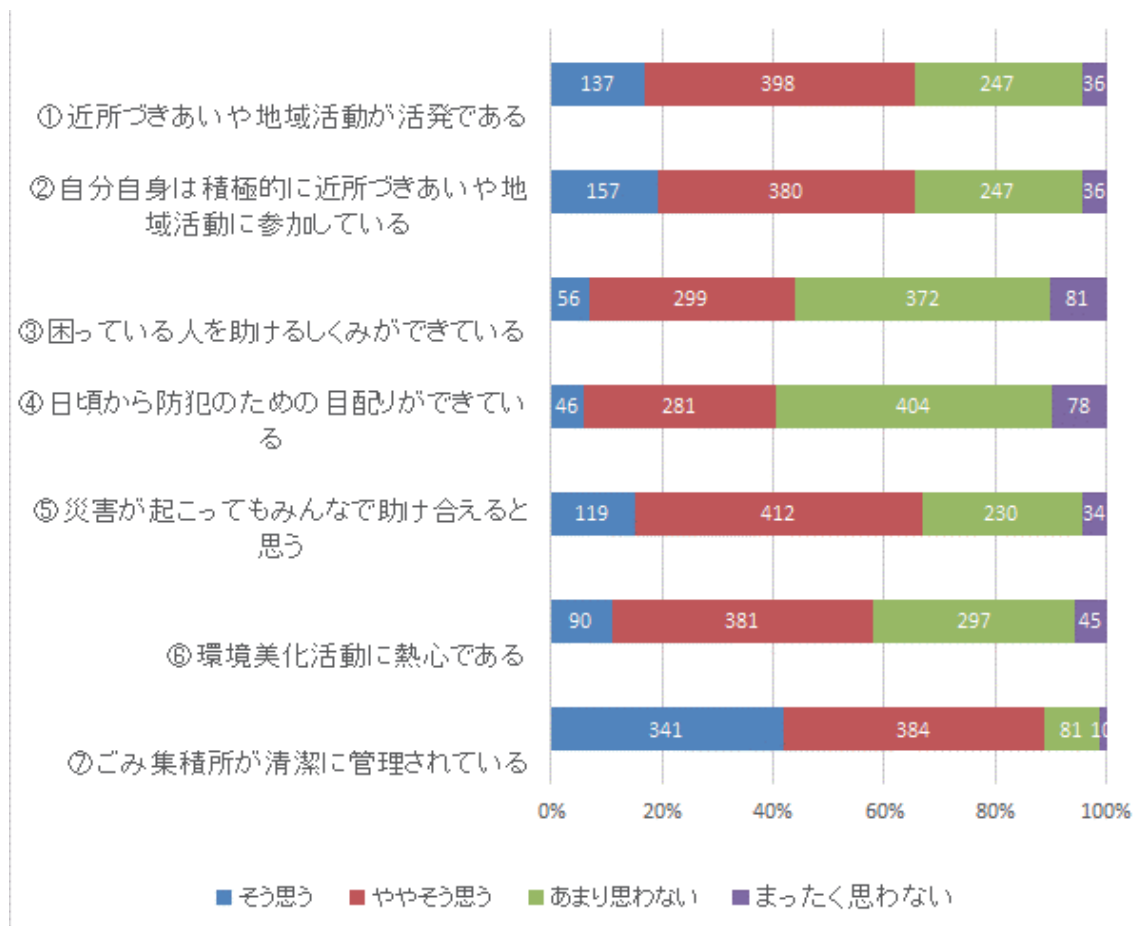
①住民アンケート調査結果

ア 住んでいる地域について

- 住んでいる地域について項目別に評価してもらった結果、『そう思うか』（「そう思う」＋「ややそう思う」）の割合が高いのは、「⑦ごみ集積所が清潔に管理されている」と「①近所づきあいや地域活動が活発である」などとなっています。
- 一方「④日頃から防犯のための目配りができている」などは、『そう思う』の割合がやや低くなっています。

※図中：それぞれの選択肢の回答者数

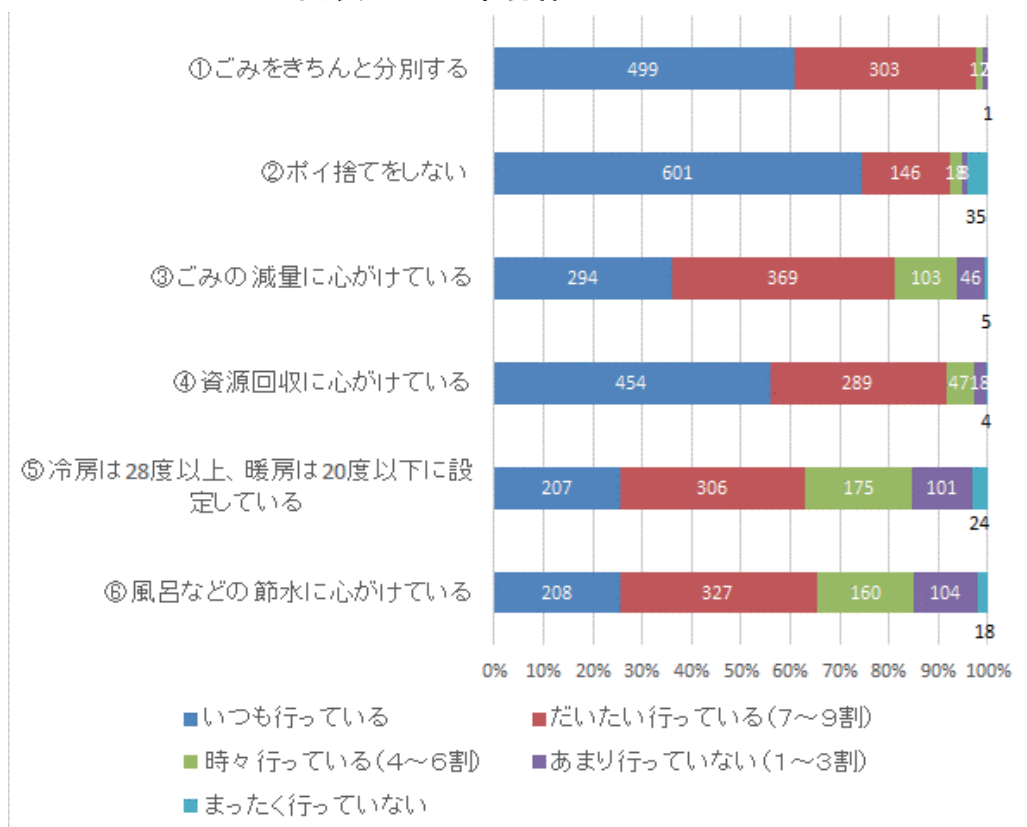
図表 3-6 住んでいる地域について



イ 環境保全について

- 環境保全について項目別に取り組んでいるのかについては、『行っている』（「いつも行っている」＋「だいたい行っている」）の割合は、「①ごみをきちんと分別する」、「②ポイ捨てをしない」をはじめとする項目で極めて高い割合となっています。笠郷地域では、ごみに関わる取組みは、きちんと行われています。
- 一方、「⑤冷房は28度以上、暖房は20度以下に設定している」は『行っている』が低くなっています。

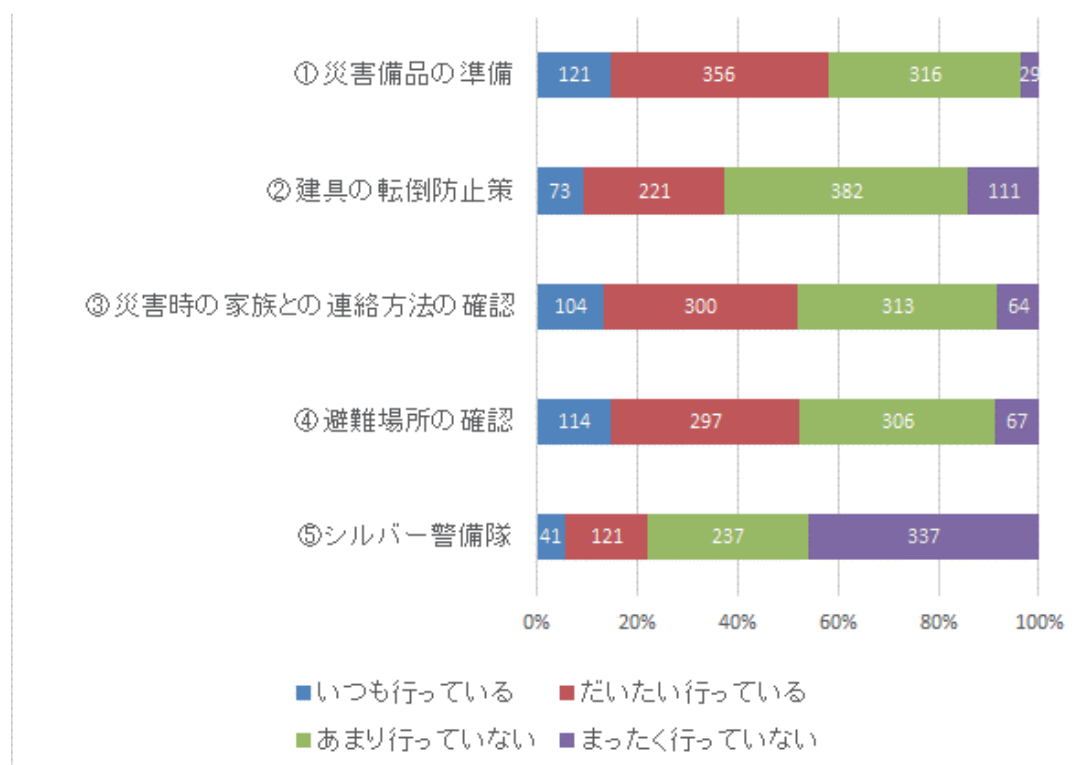
図表 3-7 環境保全について



ウ 防災・防犯について

- 環境保全について項目別に取り組んでいるのかについては、『行っている』（「いつも行っている」＋「だいたい行っている」）の割合は、「①災害備品の準備」が最も高くなっていますが、60%を切っています。
- 「シルバー警備隊」については活動団体が限られていますが、『行っている』が20%以上見られます。

図表 3-8 防災・防犯について



図表 3-9 自由意見の集約

I 行政に協力依頼・要望事項
① 交通インフラ整備ができていない
② 健全な住環境・産業振興企業誘致・都市計画の明確なビジョン
③ 高齢化に伴う交通の便の不安
④ 情報の共有化
⑤ 道路網の整備・子供手当での充実
⑥ 養老鉄道存続
⑦ 国道・インターアクセスを良くして大企業の進出・雇用拡大を図る
⑧ 若者が定住しやすい町に
⑨ 人口増加を図る対策
⑩ 養老町全体の住環境整備が必要
⑪ 高齢者の独居老人の支援不足
⑫ 笠郷の農地を守る・・・都市計画の線引き
⑬ 各地区に公園を整備してほしい
⑭ 交通・情報のネットワークの整備が先決・グローバルな人的交流
⑮ 東海環状道路の付近産業施設・・・

- ⑯ 安全・安心の出来る地域を目指す
- ⑰ 若者の雇用が生まれる環境が必要
- ⑱ CO₂の削減
- ⑲ 防犯・防災の手引きが各世帯にあればよい
- ⑳ 人口増加のため、企業誘致と雇用の確保・婚活支援を
- ㉑ 町民体育館の使用が廃止になり、変わりに対応できる施設を
- ㉒ 地域が発展するためには、地域住民1人1人の意識改革が必要・意見交換して何を求めるか・・・
- ㉓ 下水道の整備を・・・家庭排水は、環境及び水質が悪い

Ⅱ 笠郷地域創生自治町民会議での対応

- ① 自然環境の存続
- ② 豊かな自然環境とのどかな雰囲気はよい
- ③ 隣近所の付き合いを通して地域活動のコミュニケーションを取れる仕組みを
- ④ 全ての住民の参加行事の情報提供及び仕組み
- ⑤ ボランティアの活動参加者の拡大
- ⑥ 地域の絆・思いやりの心を続けることが大事
- ⑦ のどかな雰囲気を利用した地域活性化を・・・
- ⑧ 防災意識の高揚を図る
- ⑨ 近所に子供から老人まで気軽に集える公園があると良い
- ⑩ 地域の排水対策を具体的に・・・
- ⑪ 野焼きを規制する・不法投棄の取り締まりの強化
- ⑫ 犬の糞の始末が悪い
- ⑬ 公民館4大事業を見直す
- ⑭ 笠郷地区の歴史文化自然を景観として残す・・・若者に
- ⑮ 隣家との交流強化を図ってほしい
- ⑯ 住民の危機管理意識が低い
- ⑰ 生活環境・マナー等は親が責任をもって子供に教育を・・・
- ⑱ 自治会の役員の役割・・・しっかりした取り組みを地域に発信するべき
- ⑲ 避難場所を明確に・・・
- ⑳ 老人会の活動をもっと幅広くお願いしたい
- ㉑ 独居を支えるボランティアの立ち上げを
- ㉒ 地域で空き家が増え、空き家対策を真剣に考え話し合う機会を・・・
- ㉓ 災害時に備えて人数調査を実施したらどうか・・・
- ㉔ 若い人達の意見・提案をきいて積極的に挑戦させたら・・・
- ㉕ いろいろな行事がマンネリ化、若者の参加意識が薄れている
- ㉖ 自然環境と人間関係のつながりを大切にする活動を・・・

- ②7 生涯学習の活性化を・・・受益者負担の設定を
- ②8 高齢者のスポーツ参加を積極的に推進してほしい
- ②9 三世代が交流できる催しを・・・
- ③0 全て回覧板ですませるより、言葉での連絡網でも交流を
- ③1 地域の役職をもっと若い人をお願いし、活性化を図るべき
- ③2 夢でもいいから、地域住民の声を・・・ポストを設ける
- ③3 各地区の班単位で交流できる仕組みを・・・
- ③4 住民のゴミの分別を各世帯に配布して、周知徹底を・・・
- ③5 ポイ捨ての対策に取り組む
- ③6 災害時、特に水害・・・どこに避難をするか意識づくりが必要
- ③7 いつ起こりえる災害、年2回ぐらいは防災訓練を・・・



②中学生アンケート調査結果

平成 28 年 9 月に笠郷地域に住む中学生に対してアンケート調査を行った結果、次のように“地域の良いところ”、“より良くしたところ”について意見を得ました。

図表 3-10 中学生からみた良いところ・より良くしたいところ

性別	項目	笠郷地域の良いところ	笠郷地域をより良くしたいところ
男子生徒	①ふれあいや 支え合い	・挨拶ができています ・奉仕作業に積極的に参加 ・優しい人が多い ・地域全体が明るい ・行事に参加する人が多い ・地域の助け合いができて いる ・高齢者が元気である ・住民ひとりひとりの仲がよく 笑顔がある。	・高齢者が楽にできる体制 ・人のマナーが悪い ・若者を行事等に参加させる ・挨拶が広がる地域に ・笠郷の行事を増やす ・親孝行を広める ・交流の場の提供
	②安全		・街路灯の増加 ・カーブミラーの増加
	③文化や学び	・歴史・文化のあるところ	
	④自然や環境	・自然が豊か ・空気がおいしい ・地域がきれい ・緑が多い ・農用地の自然がいっぱい ・水が美味しい	・ゴミを少なくする運動 ・環境整備に取り組んでほしい ・細池を観光資源に ・魚釣りのマナーを徹底させる ・公園を作る ・ポイ捨てをなくす
	⑤利便性や活 性化	・大垣市に近い ・コンビニもあって便利 ・道路が整備されている	・道路の整備を ・地域の活性化 ・若者が楽しめる場所「イオン など」誘致 ・道路を広くしてほしい。 ・地域にもっと商店コンビニ等 増やす ・テニスコートの利用を簡単に してほしい
	⑥その他	・平和である	・人口増加を図る

性別	項目	笠郷地域の良いところ	笠郷地域をより良くしたいところ
女子生徒	①ふれあいや 支え合い	・挨拶がたくさんある所 ・思いやりがある ・近所付き合いが良い ・高齢者が優遇されている ・協調性がある ・親切な人が多い ・地域の活動が活発 ・のんびりした雰囲気 ・積極的に行動している人が多い ・地域交流が盛ん ・見守り隊があり安全安心な地域 ・ボランティアの人が多い ・行事が多い	・地域の行事が全員で参加できる体制づくり ・年齢関係なく挨拶の推進を図る ・20歳代の若者の挨拶が少ない ・子育て支援対策を推進する施設の増加 ・人口増加を図る ・地域の行事で絆を作る
	②安全		・道路の安全性を図る ・信号無視の車が多い ・外灯の増加 ・歩道の整備を ・信号機の増加 ・不審者対策を ・交通事故の減少を図る
	③文化や学び	・子ども会活動が活発 ・地域の伝統を守っている。 ・給食で地産地消をやっている ・地域の伝統が残されている	
	④自然や環境	・田んぼが多い ・自然が多い ・ゴミの分別がなされている ・空気がおいしい	・ゴミがあちらこちらに散乱しているので整備 ・細池の釣り客のマナーを ・水路の整備を図る ・ポイ捨てをなくす ・犬の糞対策 ・下水道の整備 ・公園や広場を増やす ・野焼きが多い ・細池の整備を
	⑤利便性や活性化	・車だと直ぐに市街地に行ける	・養老にも大型店舗の誘致を ・道の駅の誘致 ・養老鉄道の本数の増加

(3) 笠郷地域の主要課題の整理

アンケート結果などに基づいて、笠郷地域の良いところやより良くしたいところを整理して、主要課題を抽出すると、次のようになります。

図表 3-11 笠郷地域の主要課題

良いところ・強み	より良くしたいところ・弱み
・区を中心とした地域社会が強固 ・地域における行事が盛んなこと ・伝統行事を継承する取組みが行われていること ・水路、池などの自然的な環境に恵まれていること ・ごみの分別などごみ処理についての意識が高いこと ・防災についての関心が高いこと ・防犯面では大きな事件が起きていないこと ・元気な高齢者が積極的に活動していること ・子どもが健康に育まれていること ・安定的に稲作を継続 ・沿道には店舗・事業所が立地 ・東海環状自動車道インターに近くなること ・養老鉄道の利用が可能(烏江駅など) ・小中学校など公共施設が整っていること ・町の中心部や大垣市に適度に近いかと	・人口減少、少子高齢化が進んでいること ・低湿地帯であり水害が懸念されること ・幹線道路の通過交通が多いこと ・通学路の交通安全対策、夜などの防犯対策が求められること ・ごみのポイ捨てが目につきはじめていること ・用水、農地の管理などが課題になりつつあること ・防犯活動や困っている人の見守りなどの意識がやや低いこと ・移動を車に依存することが目立つこと ・引きこもりの高齢者などが増えると懸念されること ・地域の活力が低くなっていること ・地域の良さを強く情報発信してこなかったこと

笠郷地域の主要課題

- ◆ 高齢化が進むことに伴う地域の助け合い・支え合いが課題
- ◆ 防災面をはじめ防犯、交通安全などに対応することが課題
- ◆ 健やかな子どもの育成や子育ての環境を良くすることが課題
- ◆ 美しい農村景観を維持して農地を有効活用することが課題
- ◆ 農業の維持と地域の活力を高める産業を振興することが課題

4

将来のめざす姿

(1) 笠郷地域の4本柱の推進

笠郷地域においては、地域づくりの4本柱を掲げて、長期的な展望を持ってまちづくりを進めてきました。この4本柱については、当然のことながら、この計画においてもこれまでの活動を尊重して取組みを進めるものです。

●助け合おう笠郷の自治組織

自治の再編と情報の共有を図り、連携する組織の確立

●育てよう笠郷の宝青少年

少子化が進む中で、住民相互が青少年の育成を助け合う社会の確立

●高めよう笠郷の美しい品性

挨拶運動の実践強化・環境美化運動の推進

●広げよう笠郷の豊かな文化

地域の歴史・文化を笠郷地域住民の三世代交流による、地域の伝統文化の継承

(2) 笠郷地域の将来像

「地域が育てる・ふるさと笠郷」 を創造する

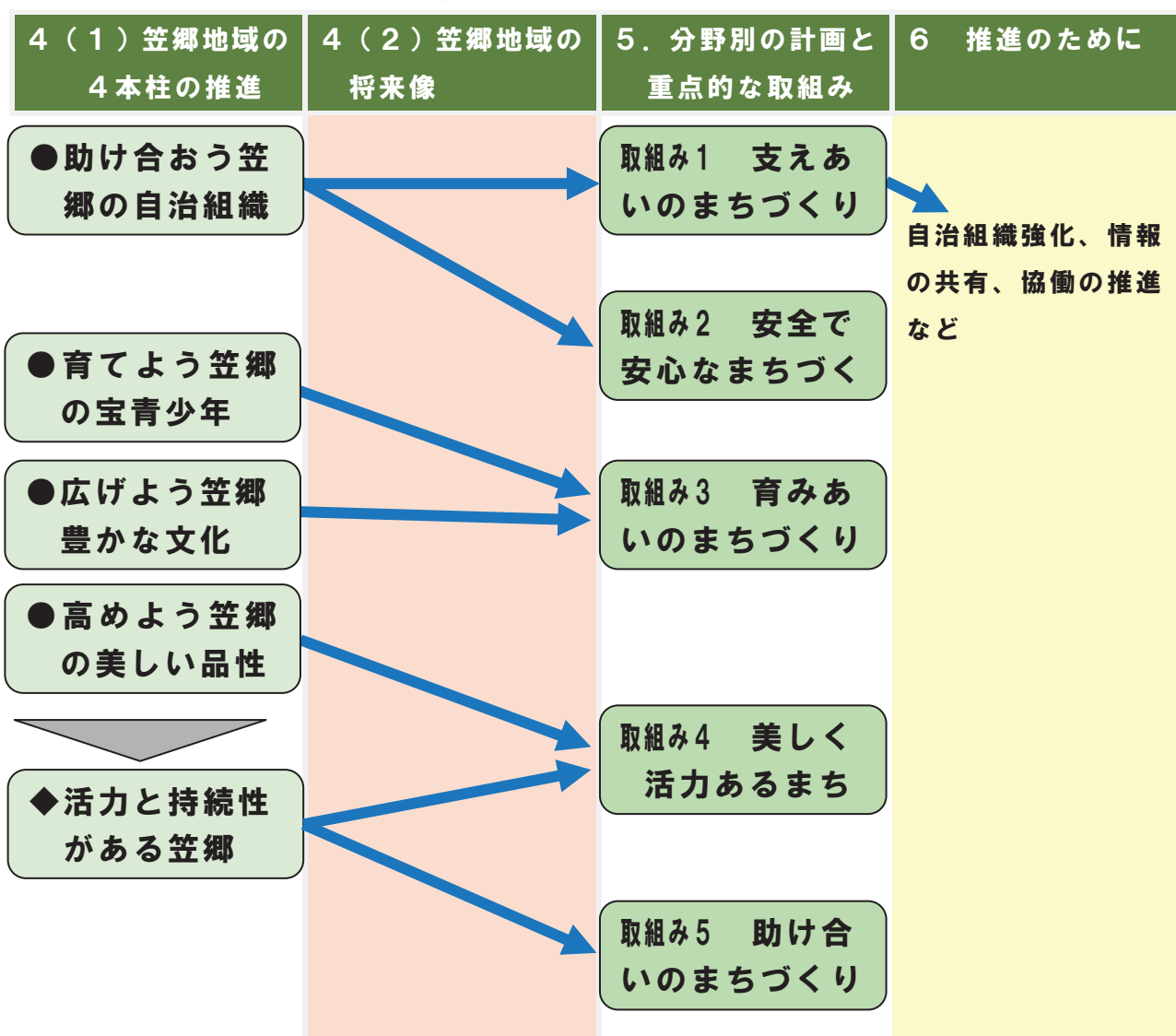
- 地域への愛着を子どもの頃から育み、地域で良好な人間関係を築き、隣近所、自治会、区、そして笠郷地域としての絆を深めます。
- 地域住民のみならず、出身者、さらには農村環境を好む人々のふるさととして持続的な地域を形成します。
- こうした地域を地域のみんなが一緒になって、自分や家族でできること、地域でできることを積極的に探り、みんなで笠郷の未来を創造していきます。

5 具体的な取組み

(1) 分野別の取組み

笠郷地域の4本柱を進めるとともに、この計画の将来像を達成していくために、5つの分野で具体的な取組みにまい進します。

図表 5-1 計画の枠組み



(2) 分野別の計画と取組み

部会における意見交換を踏まえて、5つの取組み項目について分野ごとに内容を分類して、具体的な取組みを検討しました。

また、特に今後3年間で重点的に取り組むことについても整理しています。

図表 5-2 分野別の取組み項目・取組

5つの取組み項目	取組み項目の分類	取組み項目 28 ☆：重点 10
取組み1 支えあいの まちづくり	(1)地域のつながり づくり	☆①三世代交流の推進 ②気軽に集うことができる場 所の確保や機会づくり
	(2)地域の福祉活動 の推進	☆①ひとり暮らしの見守り
	(3)健康の増進	①健康づくり活動の充実
	(4)定住の促進	①暮らしの手引きの作成
取組み2 安全で安心な まちづくり	(1)災害時の自助と 災害弱者対策	☆①自助について啓発 ☆②災害弱者の避難対策
	(2)地域防災の強化	☆①地域で災害に備えるための 方法の検討・情報の共有 ☆②防災のための体制の充実・人 づくり ③笠郷で特に心配な水害対策 の充実
	(3)地域防犯・交通 安全の推進	①防犯対策 ☆②通学路等の地域の安全性向 上
取組み3 育みあいの まちづくり	(1)子育ての支援	①子育て支援の充実
	(2)スポーツ・学習 の充実	①スポーツの充実 ②出前講座などの活用
	(3)コミュニティス クールの推進	☆①コミュニティスクールの充 実 ②地域が協力した挨拶や美化 運動の展開

5つの取組み項目	取組み項目の分類	取組み項目 ☆：重点
取組み4 美しく活力ある まちづくり	(1) 美化活動の推進	☆① 美化活動の実施とごみ捨てマナーの啓発 ② ポイ捨ての抑止
	(2) 農村環境の保全	① 自主的な環境対策の推進 ② 農地の保全対策 ③ 花いっぱい運動の推進
	(3) 特産品の開発	① ひょうたんで地域活性化 ② 高校生などと連携した特産品開発・催し
取組み5 助け合いの まちづくり	(1) 自治組織強化、情報の共有	① 地域における絆づくり ☆② 団体の体制・活動の見直し ③ 情報共有の推進
	(2) 協働の推進	① 協働のまちづくりの推進

取組み項目と内容について

● 取組み項目と重点

①、②の大きさの項目で、最初の3年間ぐらいに重点的に取組むことを☆印で示しています。

● 具体的内容

各部会で出された活動の具体的な提案について、メニューとして示しています。この中から、既に取組んでいることを充実したり、新たな取組みを各団体・部会や町民会議が行ったりしていきます。

取組み項目 ☆：重点	具体的内容（メニュー）
(1) 地域のつながりづくり	
☆① ○○○○○○○○○	・ ○○○○○○○○○○○○○○ 【○○○○部会】 ・ ○○○○○○○○○○○○○○ 【○○○○部会】
② ○○○○○○○	

取組み 1 支えあいのまちづくり

■ 課 題

- 笠郷地域においても核家族が増加することなどにより、昔と比べて地域や向こう三軒両隣といった、人と人とのつながりや関係性が薄れてきています。助け合いの地域社会を維持することや、地域のつながりや家族の良さなどを取り戻すことが課題です。
- 幼児や子どもなど、三世代のつながりも薄れています。地域のつながりや、文化、歴史を子どものころから知るようにすることが課題です。
- ひとり暮らしの人が増加しており、普段からの安否確認が必要になっています。ひとり暮らしで引きこもりになることを防ぎ、積極的な社会参加を促すことが課題です。
- 高齢者の増加に伴って、孤立・孤独の防止、話し相手や日ごろのつきあいや買い物難民対策など日常生活を支え合うこと、災害時の対応（取組み2）などが課題です。

■ 目 標

- 地域で支え合う、助け合う・支え合うまちづくりを進めて絆を深め、誰もがいきいきとした地域社会を築きます。
- 三世代が交流して、お互いに理解をして絆を深め、地域の文化や新しい地域をつくっていきます。
- 心も健康、会話がはずみ、笑いがたえない地域をつくりまします。

■ 取組み項目と内容

- 地域のつながりを再生して、新たな時代に向けて絆を深めていくために、三世代交流や気軽に集うことができる機会を充実します。
- 地域の福祉活動として、ひとり暮らしの見守り活動を積極的に行い、日常生活の支援やみんなの社会参加を促します。
- ラジオ体操などへの参加を拡大して、健康づくりのための活動を盛んにします。
- 笠郷地域への定住を促進するために、暮らしの手引を作成します。

取組み項目 ☆：重点	具体的内容（メニュー）
（１）地域のつながりづくり	
☆①三世代交流の推進	・子ども会、老人会、PTAが協力した三世代交流の推進【教育文化商工部会、健康福祉部会】 ・お祭り・打ち囃子（地域文化）の継承【教育文化商工部会、健康福祉部会】 ・参加しやすい気軽にできるボランティアで交流【教育文化商工部会】 ・町民運動会、歩け歩け大会、ラジオ体操など既存の活動（事業）の充実【教育文化商工部会】
②気軽に集うことができる場所の確保や機会づくり	・お寺の協力を得るなど、憩い・交流の場を確保【健康福祉部会】 ・保育園、小中学校の空き教室の活用【健康福祉部会】 ・サロンの開設、介護教室の開催【健康福祉部会】 ・みんなが集まって活動できる交流の場づくり【健康福祉部会】
（２）地域の福祉活動の推進	
☆①ひとり暮らしの見守り	・ひとり暮らしの見守り隊をつくるなどの活動の充実、地域の共助の充実【健康福祉部会】 ・買い物、ごみ出しに困らないような助け合い【総務部会、健康福祉部会】 ・ひとり暮らしが積極的に社会参加するための意識改革（働きかけ）【健康福祉部会】
（３）健康の増進	
①健康づくり活動の充実	・簡単にできる体操に親しむ活動【健康福祉部会】 ・地域で体力測定を実施【教育文化商工部会】 ・ラジオ体操の輪を団体が協力して拡大【教育文化商工部会】

（４）定住の促進

①暮らしの手引の作成

- ・区費、寺社等の協力費、各種団体の一覧の作成【教育文化商工部会】
- ・移住者への地域の概要を説明する資料の作成【教育文化商工部会】

【中学生からの主な取組みアイデア】

- ・挨拶運動の実践／・挨拶や、人々との交流の促進
- ・地域間交流の促進／・地域活動の活性化の推進
- ・全世帯での交流の場の提供／・親孝行の町に
- ・バリアフリーについて考える／・困った人を助ける仕組みを
- ・婚活パーティを推進／・住宅の建設を図る



取組み2 安全で安心なまちづくり

■課 題

- 高齢化の進展やひとり暮らし人の増加に伴い、地域みんなの安全・安心の確保が大きな課題になっています。
- 笠郷地域は水との戦いの歴史があり、伊勢湾台風の被害を受けたことなど、過去の経験を生かして豪雨に備えることが急務です。また、地震が発生する場合には、豪雨とは異なる備えも必要になります。
- このため、『養老町防災計画』の推進と連携して、情報の収集と活用、避難場所の充実、効果的な訓練の実施など、日ごろから災害時に備える活動を充実することが課題です。また、効果的な防災を行うことができるように地域の備えを常に工夫して改善することが課題です。
- 次代を担う子ども達を地域 みんなで守ることが重要です。小中学生の通学路の安全確認を進めて通学路を改善することや、子どもを犯罪から守るための見守り活動やパトロールなどを充実することが課題です。
- 中学生や高校生が自転車通学する場合には、夜間などの安全確保を進めることや、一方で中学生、高校生の自転車のマナーの向上を図ることが課題です。

■目 標

- 災害や犯罪の被害者や交通事故死がゼロの地域をめざします。
- 地域全員参加で防災や防犯活動を進め、子どもや高齢者などの弱者を守るまちづくりを進めます。
- 災害時において自分や家族の身をそれぞれ守り、できるだけ被害を少なくするための日ごろの備えを強化します。

■取組み項目と内容

- 災害時に時には“自分で自分の身は守る、家族で家族の身は守る”という、自助をまず徹底するための啓発などを強化します。また、日ごろからの絆づくりを進めながら、災害弱者の避難対策を確立します。
- 地域の防災力を強化するために、地震や水害などに備える工夫や避難場所の確保や避難訓練など、地域で災害に備えるための方法を検討するとともに情報を共有します。また、災害時に有効に機能する防災のための体制の充実や人材の確保を進めるとともに、町と連携して水害対策を充実します。

- 防犯対策を地域ぐるみで進めるとともに、中学生、高校生をはじめとした自転車のマナーの向上を図ります。

取組み項目 ☆：重点	具体的内容（メニュー）
（１）災害時の自助と災害弱者対策	
☆①自助についての啓発	・自分の身はまず自分で守る意識の徹底・災害に備えて行うことの啓発【安全安心部会】 ・家具転倒防止など各世帯への啓発【安全安心部会】
☆②災害弱者の避難対策	・ひとり暮らしの地域における避難体制の確立【健康福祉部会】 ・要援護者の調査の実施（下笠では実施済みで、誰がどこにと把握）・安否確認名簿の作成と災害時における活用【健康福祉部会、安全安心部会】
（２）地域防災の強化	
☆①地域で災害に備えるための方法の検討・情報の共有	・地震などに備えたチェックシートの作成【安全安心部会】 ・各世帯の居住者名簿の作成【安全安心部会】 ・災害時の避難人員の把握（地域の居住者の把握） ・連絡網づくり【安全安心部会】 ・消火栓・消火器具・格納庫の位置の情報を共有【安全安心部会】 ・各自治会の災害マニュアルの作成、町地域防災計画との連携【安全安心部会】 ・学校以外の地域に身近な避難場所の検討【安全安心部会】 ・地震、水害それぞれの避難場所への誘導訓練の実施【安全安心部会】 ・避難場所運営マニュアルの検討【安全安心部会】

☆②防災のための体制の充実・人づくり	・地域の防災リーダーの養成【安全安心部会】 ・笠郷1本の消防・水防団の編成【安全安心部会】 ・防災隊の人選や任期の改善【安全安心部会】 ・ひとり暮らし・独居老人の避難体制の確立【安全安心部会】 ・防災隊の訓練の充実と連絡網の徹底【安全安心部会】 ・女性防火クラブの人員確保【安全安心部会】
③笠郷で特に心配な水害対策の充実	・水害対策の充実【安全安心部会】 ・ゲリラ豪雨への対策の検討【安全安心部会】
(3) 地域防犯・交通安全の推進	
①防犯対策	・シルバー警備隊（老人会）との連携【安全安心部会】
☆②通学路等の地域の安全性向上	・安全な通学路の設定、見守り活動【教育文化商工部会】 ・自転車マナーや交通安全についての学習【教育文化商工部会】

【中学生からの主な取り組みアイデア】

- ・犯罪のない平和な地域／・街路灯の増設
- ・子どもに有害な店をなくしてほしい
- ・交通安全の強化／・カーブミラーの増加
- ・通学路にガードレールの設置を要望
- ・全生徒が自転車通学・下校できるようにしてほしい
- ・通学路に街路灯の設置を要望

取組み3 育みあいのまちづくり

■課 題

- 地域を担う子どもを育てるために、コミュニティスクールを中心に、学校・地域・家庭がさらに連携を強め、地域全体で支えていくことが課題です。
- 認定こども園への移行については、保護者や地域の理解と教育を高めて、子育て支援や幼児の教育を進めることが課題です。
- できるだけ身近なエリアに、幼少の子どもが安心して遊ぶことができる場所を確保することが課題です。
- 子育て支援活動や家庭教育学級などの活動について、情報をゆき渡らせることが課題です。

■目 標

- 子ども達が夢と希望を持てるまちづくりを進めて、故郷を愛し、住み続ける人づくりを進めます。
- 地域 みんなが生涯にわたって楽しみながら交流して学び合うことをめざします。

■取組み項目と内容

- 身近な場所に安心して子どもが遊ぶことができる遊び場の確保を工夫します。
- 歩け歩け大会などのスポーツの充実や、出前講座などを活用して学ぶ機会を充実します。
- 学校・家庭・地域の連携強化を図るとともに、コミュニティスクールをみんなで支えて充実します。また、地域が協力して挨拶運動などを進めて、子どもとともに学び合い、大人も学んでいく気風をつくります。

取組み項目 ☆：重点	具体的内容（メニュー）
（１）子育ての支援	
①子育ての支援の充実	・身近な公園や遊び場の確保【教育文化商工部会】 ・子育て支援活動についての情報発信【教育文化商工部会】

(2) スポーツ・学習の充実	
①スポーツの充実	・ 歩け歩け大会などの継続・充実【教育文化商工部会】 ・ 住民ニーズに応じた体育振興会の活動の展開【教育文化商工部会】
②出前講座などの活用	・ 町の出前講座などを活用した学習機会の充実【教育文化商工部会】
(3) コミュニティスクールの推進	
☆①コミュニティスクールの充実	・ 学校・家庭・地域との連携強化【教育文化商工部会】 ・ コミュニティスクール（学校運営協議会）を地域が一丸となって推進【教育文化商工部会】
②地域が協力した挨拶や美化運動の展開	・ 各地区で挨拶運動を展開・挨拶名人づくり【教育文化商工部会】 ・ 資源回収の充実（小学校、中学校、自治会が連携して実施）【教育文化商工部会】

【中学生からの主な取組みアイデア】

- ・ 公園や子供達が安心して遊べる施設を
- ・ アスレチックを作る／・憩いの場の整備
- ・ 学校授業の一貫に住民との交流の場を設ける
- ・ 学校に空調設備を



取組み4 美しく活力あるまちづくり

■課 題

- 笠郷地域には美しい農村環境が残る一方で、遊休農地にごみのポイ捨てが見られたり、外来性動植物の生息が目立ってきており、農地の管理をきちんと行うことが課題です。
- ごみを出さない循環型の社会をめざして、資源ごみの収集を的確に行うことや、ごみ捨てのマナーを徹底していくことが課題です。
- 道路、水路や通学路におけるごみのポイ捨てを監視・防止することや、草を刈るなどのクリーン活動を充実すること、花壇などで地域を彩ることが課題です。
- 排水機が老朽化していることによる騒音などの対策や、排水機や排水路にごみを取り除くことが課題です。

■目 標

- ごみが落ちていない、清潔なまちや、花にも彩られる美しい農村景観の維持をめざします。
- ごみをできるだけ出さないような生活することと、ごみ出しの時には分別をきちんと行うようにします。

■取組み項目と内容

- 地域を美しく保つための美化・クリーン活動を充実するとともに、こうした活動やごみを捨てる場合の分別についての啓発を強化します。また、みんなが道や農地、水路などに目を光らせてポイ捨てを防止します。
- 美しい農村環境や景観を継承するため、農地所有者が野焼きを行う際は、周辺の居住環境に配慮することや、農地の管理を徹底するようにします。また、花壇コンクールを進めてきたことなどを生かして、さまざまな団体で花いっぱい運動を進めます。
- 養老町の物産としてのイメージが強いひょうたんの栽培を行うことや、大垣養老高校など高校生等による特産品開発等の試みを受け入れます。

取組み項目 ☆：重点	具体的内容（メニュー）
（１）美化活動の推進	
☆①美化活動の実施と ごみ捨てマナーの 啓発	・地域一斉の美化活動・クリーン活動を進めて、ごみの分別を行いながら学習【環境美化部会】 ・環境美化デーを設けるなど地域美化の啓発を強化【環境美化部会】 ・ごみの分別や捨てる時のマナー、集積所に出す時のマナーを徹底【環境美化部会】
②ポイ捨ての抑止	・「ごみを捨てるな」という看板を設置。その標語を学校や子ども会で子どもから募集【環境美化部会】
（２）農村環境の保全	
①自主的な環境対策 の推進	・野焼きを行う時は居住環境に注意して行うことを啓発【環境美化部会】 ・犬の散歩の時にマナーを啓発【環境美化部会】 ・釣り人のマナーの向上を啓発【環境美化部会】
②農地の保全対策	・担い手や土地所有者による草刈り、農地の管理の徹底【環境美化部会】 ・道路・農道の保全のための情報発信・啓発【環境美化部会】
③花いっぱい運動の 推進	・地域の様々な団体が協力して無理なく花いっぱい運動を推進【環境美化部会】
（３）特産品の開発	
①ひょうたんで地域 活性化	・ひょうたんを地域の特産として栽培【教育文化商工部会】 ・地産地消の朝市・青空市の開催【健康福祉部会】
②高校生などと連携 した特産品開発・ 催し	・高校生による特産品開発などのフィールドを提供して一緒に活動【教育文化商工部会】 ・地産地消の朝市・青空市の開催【健康福祉部会】

【中学生からの主な取り組みアイデア】

- ・ 自然が多い／・自分のゴミは自分で持ち帰る運動の展開
- ・ 環境美化の推進／・クリーン活動の推進
- ・ 奉仕作業を年に2回程度実施
- ・ 釣り客のマナー向上／・細池の釣り禁止／・細池の環境整備
- ・ 花いっぱい運動の実践／・野焼きの廃止
- ・ 犬の糞対策の強化／・のら猫対策を強化／・倉庫の騒音が大きい
- ・ 町の活性化／・イベント等を増やす
- ・ 買い物ができる商店の増加
- ・ 近くに商業施設の誘致／・ショッピングモールを建設
- ・ 国道に商業施設を道路の整備
- ・ コンビニの増加を図る／・商業施設に映画館を
- ・ 大垣祭りのような祭りを開催／・祭典を活性化
- ・ 特有の行事を増やす／・若者のイベントを推進
- ・ 神社の祭典で屋台等を増やす／・笑顔になれる行事を考案
- ・ 花火大会を／・笠郷地域の観光名所を作る
- ・ マスコットキャラクターを新しく考える
- ・ 有名人を呼んでイベントを開催



取組み5 助け合いのまちづくり

■課 題

- 笠郷地域において自主的なまちづくりを進めたり、行政との協働を効果的に行うためには、地域で活動している様々な組織の強化や人づくり、情報の共有が不可欠です。
- このため、地域のつながり・絆を深めることや、子どもの頃から地域の良さを学ぶこと、三世代が交流することや、地域の組織に住民が参加しやすい活動や運営を行うことが課題です。
- 地域で活動している団体のメンバーが高齢化・固定化しており、活動の見直しや活動活性化のための工夫が課題です。さらに、団体同士が連携することや、住民がお互いに理解して活動に参加することができるよう支援することが課題です。
- 地域の役員がすぐに回ってきたり、役員そのものの負担感が増していることや、役員になること（団体への加入）への抵抗感があり、地域の活動が今後も継続できるかが課題です。
- ひとり暮らしや独居老人などの日常生活における、困りごと（ごみ出し、蛍光灯の取替え、買い物、庭木の剪定や草刈りなど）を支援する仕組みが確立されておらず、高齢化が進む上で、地域でも何らかの対策が必要です。

■目 標

- 地域の団体それぞれが、住民が参加しやすい活動や組織の運営を行います。
- 笠郷地域自治町民会議と団体同士が連携・役割分担を行い、より効果的に継続することができるまちづくりを進めます。

■取組み項目と内容

- 地域における絆づくりのため、三世代交流を推進するとともに、ひとり暮らしや高齢者などへの支援を行います。
- 自治組織のスリム化を進めるとともに、各種団体の活動の見直しを行い、自治組織の強化を図り、情報の共有を進めます。
- 地域の要望を町民会議で集約し、町へ働きかけたり、町に対して協働の取組みを提案するなど、協働のまちづくりを推進します。

取組み項目 ☆：重点	具体的内容（メニュー）
（１）自治組織強化、情報の共有	
①地域における絆づくり	・三世代の交流の推進【健康福祉部会】 ・小さいころから地域を学習【健康福祉部会、教育文化商工部会】 ・ひとり暮らし・高齢者などへの困りごと支援（日常生活の支援、外出支援）【総務部会、健康福祉部会】
☆②団体の体制・活動の見直し	・自治組織のスリム化（役員の選出や活動内容の見直し）【総務部会】 ・老人会の活性化・組織の改善【健康福祉部会】 ・自治会の地域福祉体制の充実、民生児童委員の確保【健康福祉部会】 ・防災のための体制の充実・人材確保【安全安心部会】（再掲） ・コミュニティスクールの充実【教育文化商工部会】（再掲） ・各団体による地域の人材の掘り起し・人材の受入れ【総務部会】
③情報共有の推進	・いろいろな団体の合同の集いの開催【健康福祉部会、総務部会】 ・自治町民会議の活動についての広報・広聴【総務部会】
（２）協働の推進	
①協働のまちづくりの推進	・地域の要望を自治町民会議で集約して町と調整【総務部会】 ・町へ協働の取組みを提案したり、町の提案を活用【総務部会】

【中学生からの主な取組みアイデア】

- ・人と人との仲間づくりを大切にする
- ・各種団体の簡素化
- ・各家庭にアンケートを実施する

6 計画の推進に向けて

(1) 活動参加者の拡大

①団体の連携と団体の活動の見直し

- この計画は部会における検討を中心として進めてきており、部会を構成する各団体の日ごろの取組みを踏まえて、取組み内容を検討してきました。
- しかしながら、各団体で取組んでいることは数多く、この計画に示す取組みも個別の団体のみではなく、団体相互が部会として連携することや、部会同士が連携することが必要です。
- 各団体においては、今までの取組み内容を見直すことや、ほかの団体と連携したり、町民会議の協力を得るなど、必要な活動の継続を図ることが課題です。

②人材の掘り起こし

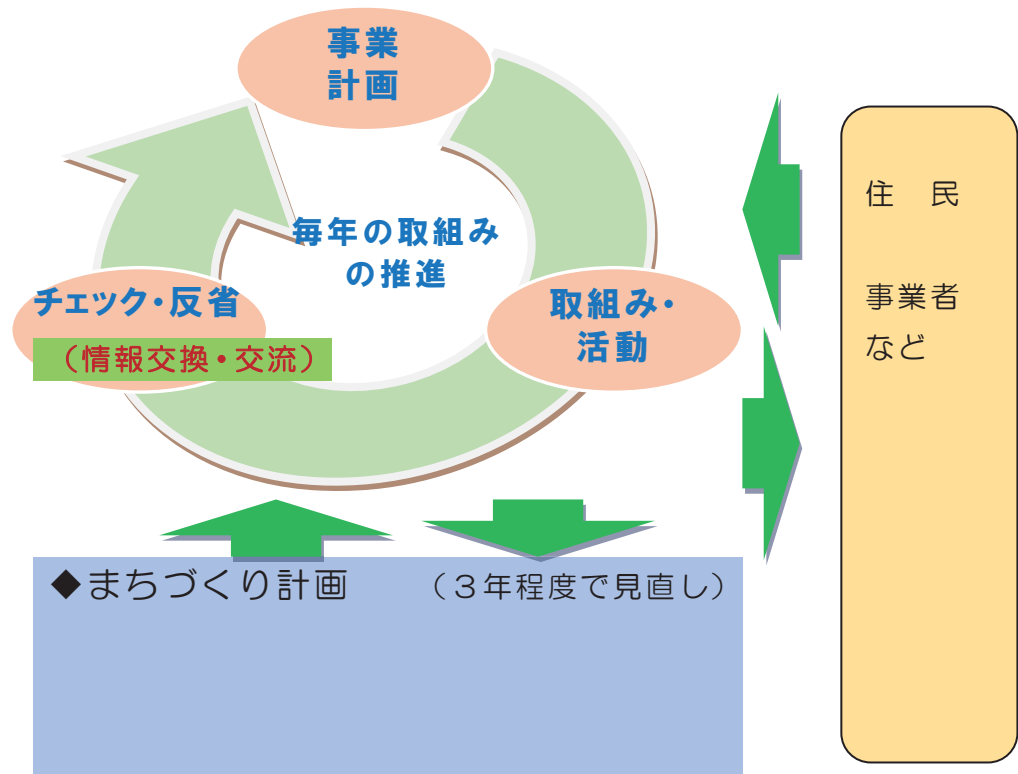
- 地域には、多彩な人材が埋もれている可能性があり、町民会議の参加者を広げながら、新たな人材の確保や若者の参加を掘り起こしていく必要があります。
- 各団体においては、誰もが参加しやすい活動に心がけ、仲間づくりを進めることが必要です。

(2) 毎年の進み具合の点検と改善

①年度ごとの計画のチェック

- この計画は、次年度の予算を検討する根拠となるものであり、取組みがどの程度進んだのかについて、毎年度チェックし、次年度の予算に反映させます。
- あわせて年度の節目では、町民会議の役員や地域住民ができるだけ集まって、意見交換を行い、次年度の取組みについて意見交換をします。
- 課題に対して新たな活動のアイデアが提案された場合や、前期の3年を経た段階においては、取組みの進み具合に対する評価（点検と改善）を踏まえて、計画を柔軟に見直していきます。

図表 6-1 計画・事業の推進の流れ



②協働の推進

- 地域のみではできないが行政の支援が必要な事柄については、笠郷地域として、町に対して積極的に協働を提案します。
- 町から協働のまちづくりに関する提案がある場合には、この計画の推進のために活用することを検討します。

町民会議では、地域のみなさんからのご意見を尊重しながら活動を進めるために、笠郷自治会館の玄関前に『住民意見箱』（右の写真）を設置しています。この意見箱に寄せられたご意見については、事務局において確認し、役員会などで協議していきます。



笠郷地域まちづくり計画

発行／笠郷地域創生自治町民会議

養老町船附 1148 TEL 32-0006 FAX 36-0016

養 老 町 民 憲 章

わたしたちの町、養老町は、緑の山、清らかな水に恵まれた歴史の町です。

わたしたちの、この美しいふるさととは、先人のたゆまぬ努力によって伸びつづけてきました。

わたしたちは、愛の輪をさらにひろげ、力をあわせて未来につづく明るい町をつくります。

1. おはよう こんにちは と元気な声が
わく町にしましょう
1. 美しい自然の中で 力いっぱい働ける
町にしましょう
1. おとしよりが 豊かにくらせる町にし
ましょう